



TERASOLUNA Batch Framework for Java

設定ファイル説明書

第 2.0.3.1 版

株式会社 NTT データ

本ドキュメントを使用するにあたり、以下の規約に同意していただく必要があります。同意いただけない場合は、本ドキュメント及びその複製物の全てを直ちに消去又は破棄してください。

1. 本ドキュメントの著作権及びその他一切の権利は、NTT データあるいは NTT データに権利を許諾する第三者に帰属します。
2. 本ドキュメントの一部または全部を、自らが使用する目的において、複製、翻訳、翻案することができます。ただし本ページの規約全文、および NTT データの著作権表示を削除することはできません。
3. 本ドキュメントの一部または全部を、自らが使用する目的において改変したり、本ドキュメントを用いた二次的著作物を作成することができます。ただし、「TERASOLUNA Batch Framework for Java（設定ファイル説明書）」あるいは同等の表現を、作成したドキュメント及びその複製物に記載するものとします。
4. 前2項によって作成したドキュメント及びその複製物を、無償の場合に限り、第三者へ提供することができます。
5. NTT データの書面による承諾を得ることなく、本規約に定められる条件を超えて、本ドキュメント及びその複製物を使用したり、本規約上の権利の全部又は一部を第三者に譲渡したりすることはできません。
6. NTT データは、本ドキュメントの内容の正確性、使用目的への適合性の保証、使用結果についての的確性や信頼性の保証、及び瑕疵担保義務も含め、直接、間接に被ったいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。
7. NTT データは、本ドキュメントが第三者の著作権、その他如何なる権利も侵害しないことを保証しません。また、著作権、その他の権利侵害を直接又は間接の原因としてなされる如何なる請求（第三者との間の紛争を理由になされる請求を含む。）に関しても、NTT データは一切の責任を負いません。

本ドキュメントで使用されている各社の会社名及びサービス名、商品名に関する登録商標および商標は、以下の通りです。

Terasoluna は、株式会社 NTT データの登録商標です。

その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

本書は、TERASOLUNA Batch Framework for Java ver2.0.3.1 に対応しています。

Bean定義ファイル一覧

| 項番 | 名称 | ファイル名 |
|----|--|---|
| 1 | フレームワークBean定義ファイル | FrameworkBean.xml |
| 2 | ジョブBean定義ファイル | 任意 |
| 3 | デフォルトBean定義ファイル | DefaultValueBean.xml |
| 4 | データアクセスBean定義 | dataAccessContext-batch.xml |
| 5 | 非同期型ジョブ起動機能バッチデーモン | AsyncBatchDaemonBean.xml |
| 6 | デーモン終了用ジョブBean定義ファイル | StopDaemonBean.xml |
| 7 | 非同期型起動用スレッドプール定義ファイル | ThreadPoolContext-AsyncBatch.xml |
| 8 | 同期型起動用スレッドプール定義ファイル | ThreadPoolContext-batch.xml |
| 9 | 非同期型ジョブ起動機能バッチデーモン(CommonJ用)定義ファイル | AsyncBatchDaemonForCommonjBean.xml |
| 10 | ジョブスターター用ワークマネージャ定義ファイル | WorkManagerContext.xml |
| 11 | ワーク用ワークマネージャ定義ファイル | WorkManagerTaskContext-batch.xml |
| 12 | プレースホルダ設定定義ファイル | PlaceholderConfig.xml |
| 13 | チャンク別トランザクションモデル | ChunkTransactionBean.xml |
| 14 | チャンク別トランザクションモデル (リスタート) | ChunkTransactionForRestartBean.xml |
| 15 | チャンク別トランザクションモデル (ブレイク) | ChunkTransactionForControlBreakBean.xml |
| 16 | 非トランザクションモデル | NoTransactionBean.xml |
| 17 | 単一トランザクションモデル | SingleTransactionBean.xml |
| 18 | ジョブ分割チャンク別トランザクションモデル | PartitionChunkTransactionBean.xml |
| 19 | ジョブ分割チャンク別トランザクションモデル (リスタート) | PartitionChunkTransactionForRestartBean.xml |
| 20 | ジョブ分割非トランザクションモデル | PartitionNoTransactionBean.xml |
| 21 | ジョブ分割単一トランザクションモデル | PartitionSingleTransactionBean.xml |
| 22 | ジョブ分割逐次単一トランザクションモデル | SequentialSingleTransactionBean.xml |
| 23 | ファイルアクセス | FileAccessBean.xml |

フレームワークBean定義ファイル

| 項番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | Bean概要 | property | Property概要 |
|----|-----------------------|--|--|--|--|---|
| 1 | ブレースホルダ | | | | PlaceholderConfig.xml | ブレースホルダを定義したBean定義ファイル |
| 2 | デフォルトBean定義ファイルのインポート | | | | DefaultValueBean.xml | デフォルト値を定義したBean定義ファイル |
| 3 | リソース定義 | messageSource | org.springframework.context.support.ResourceBundleMessageSource | リソースバンドルのBean定義。 | basenames | リソースの設定。 初期設定値は『ApplicationResources, system-messages, application-messages』である。 |
| 4 | | messageAccessor | jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.messages.MessageAccessorImpl | メッセージ取得用クラスの設定 | - | - |
| 5 | 分割キー取得用コレクタ定義 | IBatisDbPartitionKeyCollector | | データベースCollectorのPartitionKey取得用Bean定義。 ジョブBean定義ファイルでCollectorに設定されたDAOを使って、データベースからPartitionKeyデータを取得する。 | queryRowHandlerDAO | 使用するqueryRowHandlerDAO。 初期設定値は『QueryRowHandlerDAO』である。 |
| 6 | | listPropertyPartitionKeyCollector | jp.terasoluna.fw.batch.standard.ListPropertyCollector | Bean定義リストCollectorのPartitionKey取得用Bean定義。 ジョブBean定義ファイルに設定されたリストを使ってPartitionKeyデータを取得する。 | collectedDataHandlerFactory | 分割キー処理用ハンドラのファクトリクラス。 初期設定値は『jp.terasoluna.fw.batch.partition.PartitionKeyHandlerFactory』である。 |
| 7 | | stringArrayPropertyPartitionKeyCollector | stringArrayPropertyCollector | 文字列配列プロパティCollectorのPartitionKey取得用Bean定義。 ジョブBean定義ファイルに設定された文字列配列を使って、PartitionKeyデータを取得する。 | collectedDataHandlerFactory | 分割キー処理用ハンドラのファクトリクラス。 初期設定値は『jp.terasoluna.fw.batch.partition.PartitionKeyHandlerFactory』である。 |
| 8 | 対象データ取得用コレクタ定義 | listPropertyCollector | jp.terasoluna.fw.batch.standard.ListPropertyCollector | Bean定義リストCollector用Bean定義。 ジョブBean定義ファイルに設定されたリストを使って対象データを取得する。 | collectedDataHandlerFactory | チャンカーを生成するファクトリクラス。 初期設定値は『jp.terasoluna.fw.batch.standard.ChunkerFactory』である。 |
| 9 | | stringArrayPropertyCollector | stringArrayPropertyCollector | 文字列配列プロパティCollector用Bean定義。 ジョブBean定義ファイルに設定された文字列配列を使って対象データを取得する。 | collectedDataHandlerFactory | チャンカーを生成するファクトリクラス。 初期設定値は『jp.terasoluna.fw.batch.standard.ChunkerFactory』である。 |
| 10 | | IBatisDbChunkCollector | jp.terasoluna.fw.batch.ibatissupport.IBatisDbCollectorImpl | データベースCollector用Bean定義。 ジョブBean定義ファイルでCollectorに設定されたDAOを使って、データベースから対象データを取得する。 | queryRowHandlerDAO | 使用するqueryRowHandlerDAO。 初期設定値は『QueryRowHandlerDAO』である。 |
| 11 | | IBatisDbINRelationChunkCollector | jp.terasoluna.fw.batch.ibatissupport.IBatisDbINRelationCollectorImpl | iBatisのgroupByを利用しデータベースから1:N構造のオブジェクトを取得する。メモリの肥大化を最小限に抑えることができる。 | collectedDataHandlerFactory | チャンカーを生成するファクトリクラス。 初期設定値は『jp.terasoluna.fw.batch.standard.ChunkerFactory』である。 |
| 12 | 入力チェック対象データ取得用コレクタ定義 | validationListPropertyCollector | jp.terasoluna.fw.batch.standard.ListPropertyCollector | Bean定義リストCollector用Bean定義。 ジョブBean定義ファイルに設定されたリストを使って対象データを取得する。 | collectedDataHandlerFactory | チャンカーを生成するファクトリクラス。 初期設定値は『jp.terasoluna.fw.batch.validation.ValidationExecutorFactory』である。 |
| 13 | | validationStringArrayPropertyCollector | stringArrayPropertyCollector | 文字列配列プロパティCollector用Bean定義。 ジョブBean定義ファイルに設定された文字列配列を使って対象データを取得する。 | collectedDataHandlerFactory | チャンカーを生成するファクトリクラス。 初期設定値は『jp.terasoluna.fw.batch.validation.ValidationExecutorFactory』である。 |
| 14 | | validationIBatisDbChunkCollector | jp.terasoluna.fw.batch.ibatissupport.IBatisDbCollectorImpl | データベースCollector用Bean定義。 ジョブBean定義ファイルでCollectorに設定されたDAOを使って、データベースから対象データを取得する。 | queryRowHandlerDAO | 使用するQueryDao。 初期設定値は『QueryRowHandlerDAO』である。 |
| 15 | | | jp.terasoluna.fw.batch.validation.ValidationExecutorFactory | 入力チェック用の対象データ取得ハンドラ(CollectedDataHandler)クラスの定義。 チャンク作成処理は、collectedDataHandlerFactoryに設定されたチャンカー生成用 | collectedDataHandlerFactory | チャンカーを生成するファクトリクラス。 初期設定値は『jp.terasoluna.fw.batch.standard.ChunkerFactory』である。 |
| 16 | | | | | validator | バリデータの定義。 |
| 17 | マネージャ定義 | baseManager | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager | ジョブ等のフレームワークで規定する作業単位を管理、実行するマネージャ用Bean定義。 | collectorResultHandler exceptionHandlerMap | 対象データ取得結果のハンドラBeanの定義。 初期設定値は『CollectorResultHandler』である。 例外ハンドラのBean定義。 初期設定値は『ExceptionHandlerMap』である。 |
| 18 | | baseWorker | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobWorker | Chunkを処理単位として、Chunkが持つデータを入力とするビジネスロジックを実行するマネージャ用Bean定義。 | batchUpdateResultHandler defaultJobExceptionHandler exceptionHandlerMap throwableHandler | デフォルト例外ハンドラ用Bean定義。 初期設定値は『BatchUpdateResultHandler』である。 デフォルト例外ハンドラ用Bean定義。 初期設定値は『defaultJobExceptionHandler』である。 例外ハンドラを格納したMapのBean定義。 初期設定値は『ExceptionHandlerMap』である。 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 |
| 19 | | baseQueueProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor | キューから要素を取り出し、取り出したそれぞれ要素をパラメータとしてワーカを起動するマネージャ用Bean定義。 | なし | デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 20 | サポートプロセッサ | transactionalSupportProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.transaction.TransactionalSupportProcessor | トランザクション処理用Bean定義。 SupportProcessorインタフェースの実装クラス。 | supportLogicResultHandler defaultJobExceptionHandler exceptionHandlerMap throwableHandler | サポートロジックの処理結果ハンドラ用設定。 初期設定値は『transactionalSupportLogicResultHandler』である。 デフォルト例外ハンドラの設定。 初期設定値は『defaultJobExceptionHandler』である。 例外ハンドラマップの設定。 初期設定値は『ExceptionHandlerMap』である。 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 |
| 21 | | standardSupportProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor | サポートロジックの起動用クラスのBean定義。 | supportLogicResultHandler defaultJobExceptionHandler exceptionHandlerMap throwableHandler | サポートロジックの処理結果ハンドラ用設定。 初期設定値は『supportLogicResultHandler』である。 デフォルト例外ハンドラの設定。 初期設定値は『defaultJobExceptionHandler』である。 例外ハンドラマップの設定。 初期設定値は『ExceptionHandlerMap』である。 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 |

ジョブBean定義ファイル

| 項番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 | 必須 |
|----|---------------------------|---------------------------------|---|--|---|--|-----------------------------------|
| 1 | 処理モデルインポート | | | | ChunkTransactionBean.xml | チャンク別トランザクションモデルBean定義ファイル | ○ 処理モデルを一つ選び、インポートする必要がある |
| 2 | | | | | ChunkTransactionForRestartBean.xml | リスタート機能を使用するチャンク別トランザクションモデルBean定義ファイル | |
| 3 | | | | | ChunkTransactionForControlBreakBean.xml | コントロールブレイク機能を使用するチャンク別トランザクションモデルBean定義ファイル | |
| 4 | | | | | NoTransactionBean.xml | トランザクション制御なしモデルのBean定義ファイル | |
| 5 | | | | | PartitionChunkTransactionBean.xml | 分割ジョブのチャンク別トランザクションモデルBean定義ファイル | |
| 6 | | | | | PartitionChunkTransactionForRestartBean.xml | リスタート機能を使用する分割ジョブのチャンク別トランザクションモデルBean定義ファイル | |
| 7 | | | | | PartitionNoTransactionBean.xml | 分割ジョブのトランザクション制御なしモデルのBean定義ファイル | |
| 8 | | | | | PartitionSingleTransactionBean.xml | 分割ジョブの単トランザクションモデルのBean定義ファイル | |
| 9 | | | | | SingleTransactionBean.xml | 単トランザクションモデルのBean定義ファイル | |
| 10 | | | | | SequentialSingleTransactionBean.xml | ジョブ分割逐次単トランザクションモデルのBean定義ファイル | |
| 11 | | | | | FileAccessBean.xml | ファイルアクセス用Bean定義ファイル | |
| 12 | 観ジョブ前処理 | parentJobPreLogicList | org.springframework.beans.factory.config.ListFactoryBean | 分割ジョブ実行時の観ジョブの前処理設定 | sourceList | 前処理として実行するクラスをリストに定義する。複数定義した場合は、上位に定義した前処理から実行される。 | 任意 |
| 13 | 観ジョブ後処理 | parentJobPostLogicList | org.springframework.beans.factory.config.ListFactoryBean | 分割ジョブ実行時の観ジョブの後処理の設定 | sourceList | 後処理として実行するクラスをリストに定義する。複数定義した場合は、上位に定義した後処理から実行される。 | 任意 |
| 14 | 分割キー取得 | partitionKeyCollector | フレームワークBean定義ファイル説明書の分割キー処理用コレクタ定義から選択。 | 分割ジョブ実行時の分割キー取得処理定義 | 任意のプロパティ「ibatissDBPartitionKeyCollector」を選択した場合は「sql」 | 「sql」の場合は、IBATISのSQL定義ファイルで定義されたSQL IDを設定する。 | 分割ジョブの場合は必須 |
| 15 | 対象データ取得 | collector | 任意のクラス名 | 対象データ取得用Beanの設定 | 任意のプロパティ | | ○ |
| 16 | ビジネスロジック | bllogic | ビジネスロジックの実装クラス | ビジネスロジックのBeanの設定 | 任意のプロパティ | | ○ |
| 17 | ジョブコンテキスト | jobContext | パラメータ値等を格納するクラス | パラメータ値等を格納するクラスの設定 | 任意のプロパティ | | ○ |
| 18 | ジョブ前処理 | jobPreLogicList | org.springframework.beans.factory.config.ListFactoryBean | ジョブ実行時のジョブの前処理設定 | sourceList | 前処理として実行するクラスをリストに定義する。複数定義した場合は、上位に定義した前処理から実行される。 | 任意 |
| 19 | ジョブ後処理 | jobPostLogicList | org.springframework.beans.factory.config.ListFactoryBean | ジョブ実行時のジョブの後処理設定 | sourceList | 後処理として実行するクラスをリストに定義する。複数定義した場合は、上位に定義した後処理から実行される。 | 任意 |
| 20 | 先頭チャンク前処理 | firstchunkPreLogicList | org.springframework.beans.factory.config.ListFactoryBean | ジョブ実行時の先頭チャンク前処理設定 | sourceList | 前処理として実行するクラスをリストに定義する。複数定義した場合は、上位に定義した前処理から実行される。 | 任意 |
| 21 | 最終チャンク後処理 | lastchunkPostLogicList | org.springframework.beans.factory.config.ListFactoryBean | ジョブ実行時の最終チャンク後処理設定 | sourceList | 後処理として実行するクラスをリストに定義する。複数定義した場合は、上位に定義した後処理から実行される。 | 任意 |
| 22 | セーブポイント | useSavepoint | org.springframework.beans.factory.config.FieldRetrievingFactoryBean | セーブポイント使用有無設定 | staticField | 使用する場合は「java.lang.Boolean.TRUE」を設定 | 任意 |
| 23 | チャンクサイズ | chunkSize | java.lang.Integer | チャンクサイズ設定 | - | | 任意 |
| 24 | 分割ジョブの多重起動数 | multiplicity | java.lang.Integer | 分割ジョブの多重起動数設定 | - | | 分割ジョブの場合は必須 |
| 25 | SqlMapConfig | sqlMapConfigFileName | java.lang.String | SqlMapConfigの設定 | 任意のファイル | ジョブ毎にSqlMapを用意する場合に設定する。 | 任意 |
| 26 | コントロールブレイク定義情報リスト | controlBreakDefinitionList | org.springframework.beans.factory.config.ListFactoryBean | コントロールブレイクのブレイク定義情報の設定 | sourceList | コントロールブレイクの定義情報をリストに定義する。複数定義した場合は、上位から処理される。リストに定義する内容については項番27, 28を参照。 | 任意 (コントロールブレイクに対応した雛形をインポートする) |
| 27 | | | | コントロールブレイクのブレイクキーおよびブレイクキーに対応するハンドラの設定 | breakKey | コントロールブレイクのブレイクキーをリストに定義する。 | 任意 (コントロールブレイクに対応した雛形をインポートする) |
| 28 | | | jp.terasoluna.fw.batch.controlbreak.ControlBreakDefItem | | controlBreakHandler | ブレイクキーに対応したコントロールブレイクハンドラを定義する。 | 任意 (コントロールブレイクに対応した雛形をインポートする) |
| 29 | チャンクコントロールブレイク定義情報 | chunkControlBreakDefinitionItem | | チャンクコントロールブレイクのブレイクキーおよびブレイクキーに対応するハンドラの設定 | breakKey | チャンクコントロールブレイクのブレイクキーをリストに定義する。 | 任意 (コントロールブレイクに対応した雛形をインポートする) |
| 30 | | | jp.terasoluna.fw.batch.controlbreak.ControlBreakDefItem | | controlBreakHandler | ブレイクキーに対応したコントロールブレイクハンドラを定義する。 | 任意 (コントロールブレイクに対応した雛形をインポートする) |
| 31 | トランスチャンクコントロールブレイク定義情報リスト | transControlBreakDefinitionList | org.springframework.beans.factory.config.ListFactoryBean | トランスチャンクコントロールブレイクのブレイク定義情報の設定 | sourceList | トランスチャンクコントロールブレイクの定義情報をリストに定義する。複数定義した場合は、上位から処理される。リストに定義する内容については項番32, 33を参照。 | 任意 (コントロールブレイクに対応した雛形をインポートする) |
| 32 | トランスチャンクコントロールブレイク定義情報リスト | | | トランスチャンクコントロールブレイクのブレイクキーおよびブレイクキーに対応するハンドラの設定 | breakKey | トランスチャンクコントロールブレイクのブレイクキーをリストに定義する。 | 任意 (コントロールブレイクに対応した雛形をインポートする) |
| 33 | | | jp.terasoluna.fw.batch.controlbreak.ControlBreakDefItem | | controlBreakHandler | ブレイクキーに対応したコントロールブレイクハンドラを定義する。 | 任意 (コントロールブレイクに対応した雛形をインポートする) |

デフォルトBean定義ファイル

| 項番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | Bean概要 | property | Property概要 |
|----|--|----------------------------------|---|---|-------------------------------|--|
| 1 | ジョブ終了監視用クラス定義 | endFileChecker | jp.terasoluna.fw.batch.init.EndFileChecker | ジョブ終了制御用Bean定義。 | endFileDir | 終了ファイル検出ディレクトリパス。初期設定値は『batchapps/BE-03/EndFile』である。 |
| 2 | | scheduledTask | org.springframework.scheduling.timer.ScheduledTimerTask | スケジュールタスク用Bean定義。 Common)対応機能を使用する際には『WorkManagerTaskContext-batch.xml』の設定が有効になるため『DefaultValueBean.xml』の設定は無効になる。 | period timerTask | 起動周期。 初期設定値は『8000』である。 スケジュール起動対象。 初期設定値は『endFileCheck』である。 |
| 3 | タイマ | timerFactory | org.springframework.scheduling.timer.TimerFactoryBean | 監視用タイマファクトリ用Bean定義。 Common)対応機能を使用する際には『WorkManagerTaskContext-batch.xml』の設定が有効になるため『DefaultValueBean.xml』の設定は無効になる。 | daemon scheduledTimerTasks | 初期設定値は『false』である。 スケジュールタスク用設定。 初期設定値は『scheduledTask』である。 |
| 4 | デフォルト定義。ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | useCache | org.springframework.beans.factory.config.FieldRerievingFactoryBean | BeanFactoryのキャッシュ有無のデフォルト設定。 ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | staticField | 初期設定値は『java.lang.Boolean.FALSE』である。 |
| 5 | | parentJobPreLogicList | org.springframework.beans.factory.config.ListFactoryBean | ジョブ分割前処理のデフォルトBean定義。 ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | sourceList | 初期設定値は『空白リスト』である。 |
| 6 | | parentJobPostLogicList | org.springframework.beans.factory.config.ListFactoryBean | ジョブ分割後処理のデフォルトBean定義。 ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | sourceList | 初期設定値は『空白リスト』である。 |
| 7 | | jobPreLogicList | org.springframework.beans.factory.config.ListFactoryBean | ジョブ前処理のデフォルトBean定義。 ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | sourceList | 初期設定値は『空白リスト』である。 |
| 8 | | jobPostLogicList | org.springframework.beans.factory.config.ListFactoryBean | ジョブ後処理のデフォルトBean定義。 ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | sourceList | 初期設定値は『空白リスト』である。 |
| 9 | | firstchunkPreLogicList | org.springframework.beans.factory.config.ListFactoryBean | 先頭チャンク前処理のデフォルトBean定義。 ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | sourceList | 初期設定値は『空白リスト』である。 |
| 10 | | lastchunkPostLogicList | org.springframework.beans.factory.config.ListFactoryBean | 最終チャンク後処理のデフォルトBean定義。 ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | sourceList | 初期設定値は『空白リスト』である。 |
| 11 | | chunkSize | java.lang.Integer | チャンクサイズ用Bean定義。 ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | - | 初期設定値は『20』である。 |
| 12 | | useSavepoint | org.springframework.beans.factory.config.FieldRerievingFactoryBean | セーブポイント有無のデフォルトBean定義。 ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | staticField | 初期設定値は『java.lang.Boolean.FALSE』である。 |
| 13 | | JobStatusSummarizer | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardJobStatusSummarizer | 処理状態の結果ハンドラのデフォルトBean定義。 ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | - | - |
| 14 | | exitCodeMap | org.springframework.beans.factory.config.FieldRerievingFactoryBean | 終了コードのデフォルトBean定義。ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | sourceMap | 初期設定は以下の通り。 Key:ENDING_NORMALLY value:0 Key:ENDING_ABNORMALLY value:100 Key:SUSPENDING value:200 |
| 15 | | useMonitable | org.springframework.beans.factory.config.FieldRerievingFactoryBean | ジョブ監視有無のデフォルトBean定義。ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | staticField | 初期設定値は『java.lang.Boolean.FALSE』である。 |
| 16 | | manageableJobSize | java.lang.Integer | ジョブ監視の上限値用Bean定義。 ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | - | 初期設定値は『20』である。 |
| 17 | | sqlMapConfigFileName | java.lang.String | SqlMapConfigのデフォルトBean定義。ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | sqlMapConfigFileName | 初期設定値は『common/sql-map-config.xml』である。 |
| 18 | | chunkQueueLength | java.lang.Integer | チャンクキューのサイズ用Bean定義。 ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | - | 初期設定値は『10』である。 |
| 19 | | partitionQueueLength | java.lang.Integer | 分割キューのサイズ用Bean定義。 ジョブBean定義に設定がある場合、ジョブBean定義が優先される。 | - | 初期設定値は『10』である。 |
| 20 | 例外ハンドラ | exceptionHandlerMap | org.springframework.beans.factory.config.MapFactoryBean | 例外ハンドラマップのBean定義。 | sourceMap | ハンドラマップ値の設定。 初期設定値は『CollectorException=jp.terasoluna.batch.sample.bc01.CollectorExceptionHandlerImpl JobException=jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardJobExceptionHandler』である。 |
| 21 | デフォルト例外ハンドラ定義 | defaultJobExceptionHandler | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardJobExceptionHandler | JobException用デフォルト例外ハンドラのBean定義。 | なし | |
| 22 | Throwableハンドラ定義 | throwableHandler | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardThrowableHandler | ThrowableハンドラのBean定義 | なし | |
| 23 | 処理結果ハンドラ | BLogicResultHandler | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardBLogicResultHandler | ビジネスロジック結果ハンドラBean定義。 BLogicResultHandlerの実装クラス。 | なし | |
| 24 | | TransactionalBLogicResultHandler | jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.transaction.TransactionalBLogicResultHandler | チャック別トランザクションモデル用ビジネスロジック結果ハンドラBean定義。 BLogicResultHandlerの拡張クラス。 | なし | |
| 25 | | CollectorResultHandler | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardCollectorResultHandler | Collector結果ハンドラBean定義。 StandardBLogicResultHandlerの実装クラス。 | なし | |
| 26 | | batchUpdateResultHandler | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardBatchUpdateResultHandler | バッチ更新処理結果ハンドラBean定義。 BatchUpdateResultHandlerの実装クラス。 | なし | |
| 27 | | supportLogicResultHandler | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportLogicResultHandler | サポート処理実行結果ハンドラBean定義。 SupportLogicResultHandlerの実装クラス。 | なし | |
| 28 | 入力チェック | validationConfigLocations | org.springframework.beans.factory.config.ListFactoryBean | 入力チェック定義ファイルとルールファイルのBean定義。 | sourceList | 初期値は『/common/validator-rules.xml、 /common/validator-rules-ex.xml、 /common/validationCommon.xml』である。 |
| 29 | | validationResultHandler | jp.terasoluna.fw.batch.validation.StandardValidationResultHandler | 入力チェック処理結果ハンドラBean定義。 ValidationResultHandlerの実装クラス。 | なし | |

データアクセスBean定義ファイル

| 項番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | Bean概要 | property | Property概要 |
|----|---------------|----------------------|---|--|------------------------|--|
| 1 | データソース | dataSource | org.apache.commons.dbcp.BasicDataSource等 | DataSourceのBean定義。 DBCPによるコネクションプーリングを行う。 | driverClassName | JDBCのドライバの設定。 |
| | | | | | url | 接続先のURLの設定。 |
| | | | | | username | ユーザアカウントの設定。 |
| | | | | | password | パスワードの設定。 |
| | | | | | poolPreparedStatements | PreparedStatementsのプーリング有無（デフォルトはtrue） |
| | | | | | defaultAutoCommit | オートコミットの有無（デフォルトはfalse） |
| 2 | トランザクションマネージャ | transactionManager | org.springframework.jdbc.datasource.DataSourceTransactionManager | 単一のJDBCデータソース向けのトランザクションマネージャBean定義。 | dataSource | 使用するデータソースBeanの設定。 初期設定値は『dataSource』である。 |
| 3 | トランザクションプロキシ | baseTransactionProxy | org.springframework.transaction.interceptor.TransactionProxyFactoryBean | トランザクションプロキシのベース定義となる親Bean定義。 Worker定義のtarget属性に指定するBean。子のBean定義で属性をオーバーライドすることができる。 Springで提供されているファクトリクラスのBean定義。 任意のクラスにトランザクション制御コードを付加したプロキシクラスを生成する。 | transactionManager | トランザクションマネージャの設定。 プロキシ対象のBean、およびトランザクション定義情報の設定は、このbaseTransactionProxyを親定義とするフレームワークのBean定義で行われている。 初期設定値は『transactionManager』である。 |
| 4 | SQLMapClient | sqlMapClient | org.springframework.orm.ibatis.SqlMapClientFactoryBean | iBATIS データベース層のためのSQLMapのBean定義。 | configLocation | 使用するSQLMapの定義ファイルの設定。 初期設定値は『sqlMapConfigFileName』である。（デフォルトBean定義ファイル参照） |
| | | | | | dataSource | 使用するデータソースBeanの設定。 初期設定値は『dataSource』である。 |
| 5 | DAO | queryDAO | jp.terasoluna.fw.dao.ibatis.QueryDAOImpl | 参照系のDAOのBean定義。 | sqlMapClient | 使用するSQLMapClientの設定。 初期設定値は『sqlMapClient』である。 |
| 6 | | updateDAO | jp.terasoluna.fw.dao.ibatis.UpdateDAOImpl | 更新系のDAOのBean定義。 | sqlMapClient | 使用するSQLMapClientの設定。 初期設定値は『sqlMapClient』である。 |
| 7 | | spDAO | jp.terasoluna.fw.dao.ibatis.StoredProcedureDAOImpl | ストアドプロシジャ用のDAOのBean定義。 | sqlMapClient | 使用するSQLMapClientの設定。 初期設定値は『sqlMapClient』である。 |

非同期型ジョブ起動機能パッチデモン

| 項番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|----------------|--------------------------------|---|-----------------------------|--|---|
| 1 | 非同期パッチ起動用マネージャ | jobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | 非同期パッチ起動用マネージャの定義。 | name collector workQueueFactory preProcessor postProcessor | 初期値『AsyncBatchDaemonManager』 項番16を参照 項番2を参照 項番3を参照 項番5を参照 |
| 2 | | - | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardWorkQueueFactory | 非同期パッチ起動用作業キュー作成クラスの定義。 | workerCircularService queueProcessor queueLength multiplicity | フレームワークBean定義ファイルを参照 項番5を参照 初期値『10』 項番29を参照 |
| 3 | | parentJobPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.transaction.TransactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りのジョブ前処理の定義。 | supportProcessor | 項番4を参照 |
| 4 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ前処理の定義。 | - | - |
| 5 | | parentJobPostProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.transaction.TransactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りのジョブ後処理の定義。 | supportProcessor | 項番6を参照 |
| 6 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ後処理の定義。 | - | - |
| 7 | | jobContext | jp.terasoluna.fw.batch.init.RootJobContext | 親ジョブ用ジョブコンテキストの定義。 | - | - |
| 8 | キュープロセッサ | asyncBatchDaemonQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | 親ジョブ用キュー処理クラスの定義。 | name worker constructor-arg | 初期値『asyncBatchDaemonQueueProcessor』 項番9を参照 Bean定義ファイル 『/common/FrameworkBean.xml,/common/dataAccessContext-batch.xml,/common/ThreadPoolContext-AsyncBatch.xml』 |
| 9 | パッチ起動用ワーク | childJobManager | jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.init.JobExecutor | ジョブ起動用クラスの定義。 | async preJobProcessor postJobProcessor throwableHandler | 非同期起動有無フラグ 初期値『true』 項番10を参照 項番13を参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 10 | | preJobProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.transaction.TransactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りのジョブ前処理の定義。 | supportProcessor | 項番11を参照 |
| 11 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ前処理の定義。 | supportLogicList | 項番12を参照 |
| 12 | | - | jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.init.AsyncJobPreLogic | 非同期用ジョブ前処理の定義。 | jobControlTableHandler | フレームワークBean定義ファイルを参照 |
| 13 | | postJobProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.transaction.TransactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りのジョブ後処理の定義。 | supportProcessor | 項番14を参照 |
| 14 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ後処理の定義。 | supportLogicList | 項番15を参照 |
| 15 | | - | jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.init.AsyncJobPreLogic | 非同期用ジョブ後処理の定義。 | jobControlTableHandler | フレームワークBean定義ファイルを参照 |
| 16 | コレクター | batchDaemonJobCollector | jp.terasoluna.fw.batch.init.JobRequestInfoCollector | 非同期ジョブ起動時のジョブ依頼情報取得用クラスの定義。 | collectedDataHandlerFactory jobControlTableHandler intervalSeconds | 項番17を参照 フレームワークBean定義ファイルを参照 ジョブ管理テーブルの監視周期(秒) 初期値『10』 |
| 17 | | - | jp.terasoluna.fw.batch.init.JobRequestInfoHandlerFactory | ジョブ依頼情報格納用ワークキュー生成用クラスの定義。 | - | - |
| 18 | ジョブの処理状況クラス定義 | MonitorableJobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.monitor.MonitorableJobStatus | 監視用ジョブの処理状況用Bean定義。 | mbeanRegister transactionManager useSavepoint partitionNo | ジョブ監視用Bean定義 初期設定値は『MBeanRegister』であり、監視を行わない場合は設定する必要はない。 トランザクションマネージャのBean定義。 データアクセスBean定義ファイルを参照。 セーブポイント有無のBean定義。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 ジョブパーティション番号のBean定義。 初期設定値は『-1』である。 |
| 19 | | - | - | - | - | - |
| 20 | | - | - | - | - | - |
| 21 | | - | - | - | - | - |
| 22 | ジョブの処理状況クラス | JobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.transaction.TransactionalJobStatus | ジョブの処理状況用Bean定義。 | transactionManager useSavepoint partitionNo | トランザクションマネージャのBean定義。 データアクセスBean定義ファイルを参照。 セーブポイント有無のBean定義。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 ジョブパーティション番号のBean定義。 初期設定値は『-1』である。 |
| 23 | | - | - | - | - | - |
| 24 | | - | - | - | - | - |
| 25 | ジョブ監視 | useMonitorable | org.springframework.beans.factory.config.FieldRetrievingFactoryBean | ジョブ監視有無のBean定義。 | staticField | 初期値『java.lang.Boolean.FALSE』 |
| 26 | ジョブ管理テーブル | jobControlTableHandler | jp.terasoluna.fw.batch.init.JobControlTableHandlerImpl | ジョブ管理テーブル用ハンドラのBean定義。 | queryDAO updateDAO | 参照系のDAOのBean定義。 データアクセスBean定義ファイルを参照。 更新系のDAOのBean定義。 データアクセスBean定義ファイルを参照。 |
| 27 | | - | - | - | - | - |
| 28 | スレッド管理 | threadSize | jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.standard.ThreadSizeFactoryBean | スレッドプール作成時のサイズ | multiplicity | 項番29を参照。 |
| 29 | | multiplicity | java.lang.Integer | 多重度 | constructor-arg | 初期値『1』 |

デーモン終了用ジョブBean定義ファイル

| 項番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|-----------------|----------------------|--|---------------------|---------------|---|
| 1 | 非同期バッチ起動用のマネージャ | jobManager | jp.terasoluna.fw.batch.init.NullWorker | 非同期バッチ起動用のマネージャ | - | - |
| 2 | | jobContext | jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.init.AsyncJobContext | ジョブコンテキスト | - | - |
| 3 | ジョブの処理状況クラス | MonitorableJobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.monitor.MonitorableJobStatus | 監視用ジョブの処理状況用Bean定義。 | mbeanRegister | ジョブ監視用Bean定義 初期設定値は『MBeanRegister』であり、監視を行わない場合は設定する必要はない。 |
| 4 | | | | | partitionNo | ジョブパーティション番号のBean定義。 初期設定値は『-1』である。 |
| 5 | | JobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobStatus | ジョブの処理状況用Bean定義。 | partitionNo | ジョブパーティション番号のBean定義。 初期設定値は『-1』である。 |
| | | | | | | |

非同期型起動用スレッドプール定義ファイル

| 順番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | Bean概要 | property | Property概要 |
|----|-----------|-----------------------|--|-----------------------------|----------------------------|--|
| 1 | スレッドプール管理 | workerExecutorService | jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.standard.FixedThreadPoolWorkerExecutorService | フレームワークが利用するスレッドプールのBean定義。 | constructor-arg | スレッド数の設定。 初期設定値は『20』である。 |
| | | | | | defaultJobExceptionHandler | デフォルト例外ハンドラの設定。 初期設定値は『defaultJobExceptionHandler』である。 |
| | | | | | exceptionHandlerMap | 例外ハンドラマップの設定。 初期設定値は『exceptionHandlerMap』である。 |
| | | | | | throwableHandler | ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |

同期型起動用スレッドプール定義ファイル

| 項目 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | Bean概要 | property | Property概要 |
|----|-----------|-----------------------|---|-----------------------------|----------------------------|---|
| 1 | スレッドプール管理 | workerExecutorService | jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.standard.FixedThreadPoolWorkerExecutorService | フレームワークが利用するスレッドプールのBean定義。 | constructor-arg | スレッド数の設定。 初期設定値は『threadSize』である。 |
| | | | | | defaultJobExceptionHandler | デフォルト例外ハンドラの設定。 初期設定値は『defaultJobExceptionHandler』である。 |
| | | | | | exceptionHandlerMap | 例外ハンドラマップの設定。 初期設定値は『exceptionHandlerMap』である。 |
| | | | | | throwableHandler | ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 |
| | | | | | | デフォルトBean定義ファイルを参照。 |

非同期型ジョブ起動機能パッチデーモン(CommonJ用)

| 順番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|----------------|--------------------------------|--|-----------------------------------|--|---|
| 1 | 非同期パッチ起動用マネージャ | jobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | 非同期パッチ起動用マネージャの定義。 | name collector workQueueFactory preProcessor postProcessor | 初期値『AsyncBatchDaemonManager』 項番16を参照 項番2を参照 項番3を参照 項番5を参照 |
| 2 | | - | jp.terasoluna.fw.batch.common.J.WorkManagerTaskWorkQueueFactory | 非同期パッチ起動用作業キュー作成クラスの定義(CommonJ用)。 | workerCalculatorService queueProcessor queueLength multiplicity | フレームワークBean定義ファイルを参照 項番5を参照 初期値『10』 項番29を参照 |
| 3 | | parentJobPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りのジョブ前処理の定義。 | supportProcessor | 項番4を参照 |
| 4 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ前処理の定義。 | - | - |
| 5 | | parentJobPostProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りのジョブ後処理の定義。 | supportProcessor | 項番6を参照 |
| 6 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ後処理の定義。 | - | - |
| 7 | | jobContext | jp.terasoluna.fw.batch.init.RootJobContext | 親ジョブ用ジョブコンテキストの定義。 | - | - |
| 8 | キュープロセッサ | asyncBatchDaemonQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | 親ジョブ用キュー処理クラスの定義。 | name | 初期値『asyncBatchDaemonQueueProcessor』 |
| 9 | パッチ起動用ワーク | childJobManager | jp.terasoluna.fw.batch.common.J.init.JobExecutor | ジョブ起動用クラスの定義。 | worker constructor-arg async preJobProcessor postJobProcessor jobParametersSplitStr throwableHandler | 初期値 Bean定義ファイル 初期値 『/common/FrameworkBean.xml,/common/dataAccessContext- -batch.xml,/common/WorkManagerTaskContext- -batch.xml,/common/ValidationContext-AsyncBatch.xml』 非同期起動有無フラグ 初期値『true』 項番10を参照 項番13を参照 ジョブパラメータの区切り文字 初期設定値は『,』である。 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 10 | | | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りのジョブ前処理の定義。 | supportProcessor | 項番11を参照 |
| 11 | | | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ前処理の定義。 | supportLogicList | 項番12を参照 |
| 12 | | | jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.init.AsyncJobPreLogic | 非同期用ジョブ前処理の定義。 | jobControlTableHandler | フレームワークBean定義ファイルを参照 |
| 13 | | | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りのジョブ後処理の定義。 | supportProcessor | 項番14を参照 |
| 14 | | | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ後処理の定義。 | supportLogicList | 項番15を参照 |
| 15 | | | jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.init.AsyncJobPostLogic | 非同期用ジョブ後処理の定義。 | jobControlTableHandler | フレームワークBean定義ファイルを参照 |
| 16 | コレクター | batchDaemonJobCollector | jp.terasoluna.fw.batch.init.JobRequestInfoCollector | 非同期ジョブ起動時のジョブ依頼情報取得用クラスの定義。 | collectedDataHandlerFactory jobControlTableHandler | 項番17を参照 フレームワークBean定義ファイルを参照 |
| 17 | | - | jp.terasoluna.fw.batch.init.JobRequestInfoHandlerFactory | ジョブ依頼情報格納用ワークキュー生成用クラスの定義。 | intervalSeconds refreshCount | ジョブ管理テーブルの監視周期(秒) 初期値『10』 初期値『20』 |
| 18 | ジョブの処理状況クラス定義 | MonitorableJobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.monitor.MonitorableTransactionalJobStatus | 監視用ジョブの処理状況用Bean定義。 | mbeanRegister | ジョブ監視用Bean定義 初期設定値は『MBeanRegister』であり、監視を行わない場合は設定する必要はない。 |
| 19 | | ジョブの処理状況クラス | JobStatus | ジョブの処理状況用Bean定義。 | transactionManager | トランザクションマネージャのBean定義。 データアクセスBean定義ファイルを参照。 |
| 20 | | | | | useSavepoint | セーブポイント有無のBean定義。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 21 | ジョブ監視 | useMonitorable | org.springframework.beans.factory.config.FieldRetrievingFactoryBean | ジョブ監視有無のBean定義。 | partitionNo | ジョブパーティション番号のBean定義。 初期設定値は『-1』である。 |
| 22 | | | | | transactionManager | トランザクションマネージャのBean定義。 データアクセスBean定義ファイルを参照。 |
| 23 | | | | | useSavepoint | セーブポイント有無のBean定義。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 24 | ジョブ管理テーブル | jobControlTableHandler | jp.terasoluna.fw.batch.init.JobControlTableHandlerImpl | ジョブ管理テーブル用ハンドラのBean定義。 | partitionNo | ジョブパーティション番号のBean定義。 初期設定値は『-1』である。 |
| 25 | | | | | staticField | 初期値『java.lang.Boolean.FALSE』 |
| 26 | ジョブ管理テーブル | jobControlTableHandler | jp.terasoluna.fw.batch.init.JobControlTableHandlerImpl | ジョブ管理テーブル用ハンドラのBean定義。 | queryDAO | 参照系のDAOのBean定義。 データアクセスBean定義ファイルを参照。 |
| 27 | | | | | updateDAO | 更新系のDAOのBean定義。 データアクセスBean定義ファイルを参照。 |
| 28 | スレッド管理 | threadSize | jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.standard.ThreadSizeFactoryBean | スレッドプール作成時のサイズ | multiplicity | 項番29を参照。 |
| 29 | | multiplicity | java.lang.Integer | 多重度 | constructor-arg | 初期値『3』 |

ジョブスターター用ワークマネージャ定義ファイル

| 項番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|----------------------|------------------------|--|-----------------------|---------------------------------|---|
| 1 | ジョブスターター | jobStarter | jp.terasoluna.fw.batch.common.init.JobStarterImpl | ジョブ起動の定義 | workManager workListener | 項番2を参照。 初期値は『manager』である。 項番3を参照。 初期値は『listener』である。 |
| 2 | ワークマネージャ | manager | org.springframework.scheduling.common.WorkManagerTaskExecutor | ワークマネージャの定義 | workManagerName resourceRef | weblogic-application.xml に記述される、WorkManager定義のname属性を参照。 初期値は『wm/BatchWorkManager』である。 初期値は『true』である。 |
| 3 | ワークリスナー | listener | jp.terasoluna.fw.batch.common.listener.JobExecutorListener | ワークリスナーの定義 | jobResultInfoHandler | 項番6を参照。 |
| 4 | SqlMapConfigファイルPath | sqlMapConfigFileName | java.lang.String | SqlMapConfigファイルのパス定義 | constructor-arg | 使用するSqlMapConfigの定義ファイルの設定。 初期値は『common/sql-map-config.xml』である。 |
| 5 | ジョブ管理テーブル用ハンドラ | jobMessageTableHandler | jp.terasoluna.fw.batch.jobmessage.JobMessageTableHandlerImpl | ジョブ管理テーブル用ハンドラの定義 | queryDAO updateDAO | 参照系のDAOのBean定義。 初期値は『queryDAO』である。 更新系のDAOのBean定義。 初期値は『updateDAO』である。 |
| 6 | ジョブ結果テーブル用ハンドラ | jobResultInfoHandler | jp.terasoluna.fw.batch.common.transaction.JobResultInfoHandlerImpl | ジョブ結果テーブル用ハンドラの定義 | updateDAO transactionManager | 参照系のDAOのBean定義。 初期値は『updateDAO』である。 データアクセスBean定義を参照。 初期値は『transactionManager』である。 |

ワーク用ワークマネージャ定義ファイル

| 順番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|--------|-----------------------|---|--|--|---|
| 1 | ワーク管理 | workerExecutorService | jp.terasoluna.fw.batch.common.WorkManagerTaskExecutorService | ワーク管理の定義 | defaultJobExceptionHandler exceptionHandlerMap workManager workListener throwableHandler | デフォルトBean定義ファイルを参照。 初期値は『defaultJobExceptionHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 初期値は『exceptionHandlerMap』である。 項番2を参照。 初期値は『TaskExecutor』である。 項番3を参照。 初期値は『workListener』である。 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 2 | | taskExecutor | org.springframework.scheduling.common.WorkManagerTaskExecutor | タスク実行の定義 | workManagerName resourceRef | weblogtc-application.xmlに記述される、WorkManager定義のname属性を参照。 初期値は『wm.BatchWorkManager』である。 初期値は『true』である。 |
| 3 | | workListener | jp.terasoluna.fw.batch.common.listener.WorkQueueListener | ワークリスナーの定義 | - | - |
| 4 | 監視 | scheduledTask | org.springframework.scheduling.common.ScheduledTimerListener | スケジューラの定義 Common対応機能を使用する際には『WorkManagerTaskContext-batch.xml』の設定が有効になるため『DefaultValueBean.xml』の設定は無効になる。 | delay period fixedRate runnable | 遅延時間の設定。 初期値は『0』である。 繰り返す周期の設定。 初期値は『8000』である。（単位は『ms』） 初期値は『false』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 初期値は『endFileChecker』である。 |
| 5 | | timerFactory | org.springframework.scheduling.common.TimerManagerFactoryBean | タイマーの定義 Common対応機能を使用する際には『WorkManagerTaskContext-batch.xml』の設定が有効になるため『DefaultValueBean.xml』の設定は無効になる。 | timerManagerName resourceRef shared scheduledTimerListeners jndiTemplate | weblogtc-application.xmlに記述される、WorkManager定義のname属性を参照。 初期値は『timer/FileCheckTimer』である。 初期値は『true』である。 初期値は『true』である。 タイマーリスナーのBean定義。 listタグにより複数のリスナーを設定できる。 初期値は『scheduledTask』である。 JNDI環境設定。 初期値は『jndiTemplateForTimerManager』である。 |

ブレースフォルダ設定定義ファイル

| 項番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|---------|---------|--|-----------------------|-----------|---|
| 1 | ブレースホルダ | - | org.springframework.beans.factory.config.PropertyPlaceholderConfigurer | ジョブが使用するブレースホルダの設定定義。 | locations | 使用するブレースホルダのパスを定義する。 初期値は『jdbc.properties』 『template/workQueueFactory.properties』 |

チャンク別トランザクションモデル

| 順番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|------------|--------------------------------|---|--------------------------------------|---|--|
| 0 | ブレースホルダ | | | ブレースホルダの定義 | import resource | 初期値 [classpath:common/PlaceholderConfig.xml] |
| 1 | マネージャ | jobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | ジョブ実行マネージャの定義。 | name collector workQueueFactory preProcessor postProcessor | 初期値 [chunkTransactionJobManager] ジョブBean定義ファイルを参照 項番2を参照 項番3を参照 項番5を参照 |
| 2 | | - | jp.terasoluna.fw.batch.commonj.WorkManagerTaskWorkerQueueFactory | commonj対応作業キュー生成クラスの定義。 | workerExecuterService queueLength queueProcessor | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 非同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 項番7を参照 |
| 3 | | jobPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション制御有りのジョブ前処理の定義。 | supportProcessor | 項番4を参照 |
| 4 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ前処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 5 | | jobPostProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション制御有りのジョブ後処理の定義。 | supportProcessor | 項番6を参照 |
| 6 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ後処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 7 | キュープロセッサ | chunkTransactionQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | キュー処理クラスの定義。 | name worker | 初期値 [chunkTransactionQueueProcessor] 項番8を参照 |
| 8 | ワーカ | chunkTransactionWorker | jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalTransactionWorker jp.terasoluna.fw.batch.core.JobWorker | トランザクション制御有りのワーカ定義。 チャンク処理クラスの定義。 | jobWorker | 項番9を参照 |
| 9 | | jobWorker | | | biologicExecutor batchUpdateProcessor exceptionHandlerMap batchUpdateResultHandler defaultJobExceptionHandler throwableHandler | 項番10を参照 項番11を参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は [throwableHandler] である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 10 | | biologicExecutor | jp.terasoluna.fw.batch.core.StandardBiologicExecutor | ビジネスロジック実行クラスの定義。 | biologic biologicResultHandler exceptionHandlerMap defaultJobExceptionHandler throwableHandler | ジョブBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は [throwableHandler] である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 11 | | batchUpdateProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardBatchUpdateProcessor | バッチ更新処理実行クラスの定義。 | updateDAO | データアクセスBean定義ファイルを参照 |
| 12 | | ジョブの処理状況クラス | MonitorableJobStatus jp.terasoluna.fw.batch.monitor.MonitorableJobStatus | 監視用ジョブの処理状況用Bean定義。 | mbeanRegister transactionManager useSavepoint partitionNo | フレームワークBean定義ファイルを参照 データアクセスBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 初期値 [1] |
| 13 | | JobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobStatus | ジョブの処理状況用Bean定義。 | partitionNo transactionManager useSavepoint | 初期値 [1] データアクセスBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 14 | スレッドプールサイズ | threadSize | java.lang.Integer | スレッドプールのサイズ | constructor-arg | 初期値 [2] |

チャック別トランザクションモデル (リスタート)

| 項番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|---------|--------------------------------|--|--------------------------------|---|---|
| 0 | ブレースホルダ | | | ブレースホルダの定義 | import resource | 初期値『classpath:common/PlaceholderConfig.xml』 |
| 1 | マネージャ | jobManager | jp.terasoluna.fw.batch.restart.JobContextRestorer | リスタート実行用マネージャ定義。 | jobRestartTableHandler jobManager throwableHandler | 初期値『classpath:common/PlaceholderConfig.xml』 項番21を参照 項番2を参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 2 | | delegatedJobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | ジョブ実行マネージャの定義。 | name collector workQueueFactory preProcessor postProcessor | 初期値『chunkTransactionJobManager』 ジョブBean定義ファイルを参照 項番3を参照 項番4を参照 項番7を参照 |
| 3 | | - | jp.terasoluna.fw.batch.common.J.WorkManagerTaskWorkerQueueFactory | common)対応作業キュー生成クラスの定義。 | workerExecutorService | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 非同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| 4 | | jobPreProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.restart.RestartPreProcessor | リスタート時のジョブ前処理の定義。 | queueLength queueProcessor jobRestartTableHandler preProcessor throwableHandler | デフォルトBean定義ファイルを参照 項番10を参照 項番21を参照 項番5を参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 5 | | restartJobPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション制御有りのジョブ前処理の定義。 | supportProcessor | 項番6を参照 |
| 6 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ前処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 7 | | jobPostProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.restart.RestartPostProcessor | リスタート時のジョブ後処理の定義。 | jobRestartTableHandler postProcessor throwableHandler | 項番21を参照 項番8を参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 8 | | delegatedJobPostProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション制御有りのジョブ後処理の定義。 | supportProcessor | 項番9を参照 |
| 9 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ後処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 10 | | chunkTransactionQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | キュー処理クラスの定義。 | name worker | 初期値『chunkTransactionQueueProcessor』 項番11を参照 |
| 11 | ワーカ | chunkTransactionWorker | jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactional.TransactionWorker | チャック処理クラスの定義。 | transactionManager useSavepoint jobWorker | データベースBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 項番12を参照 |
| 12 | | restartPointUpdater | jp.terasoluna.fw.batch.restart.RestartPointUpdater | リスタートポイント登録用ワーククラスの定義。 | jobWorker jobRestartTableHandler throwableHandler | 項番14を参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 13 | | restartPointCloser | jp.terasoluna.fw.batch.restart.RestartPointCloser | リスタートポイント削除用ワーククラスの定義。 | jobWorker jobRestartTableHandler supportLogicList sqlKey throwableHandler | 項番14を参照 項番21を参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 リスタート情報クリア用SQL 初期設定値は『jobRestart.DELETE_JOB_RESTART_CLEAR』である。 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 14 | | jobWorker | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobWorker | チャック処理クラスの定義。 | biologicExecutor batchUpdateProcessor exceptionHandlerMap batchUpdateResultHandler defaultJobExceptionHandler throwableHandler | 項番15を参照 項番16を参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 15 | | biologicExecutor | jp.terasoluna.fw.batch.core.StandardBiologicExecutor | ビジネスロジック実行クラスの定義。 | biologic biologicResultHandler exceptionHandlerMap defaultJobExceptionHandler throwableHandler | ジョブBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 16 | | batchUpdateProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardBatchUpdateProcessor | バッチ更新処理実行クラスの定義。 | updateDAO | データベースBean定義ファイルを参照 |
| 17 | | ジョブの処理状況クラス | MonitorableJobStatus | 監視用ジョブの処理状況用Bean定義。 | beanRegister transactionManager useSavepoint partitionNo defaultJobExitCodeMap | フレームワークBean定義ファイルを参照 データベースBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 初期値『1』 デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 18 | | JobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobStatus | ジョブの処理状況用Bean定義。 | partitionNo transactionManager useSavepoint partitionNo defaultJobExitCodeMap | 初期値『1』 データベースBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 初期値『1』 デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 19 | | スレッドプールサイズ | threadSize | スレッドプールのサイズ | constructor-arg | 初期値『1』 |
| 20 | | ジョブリスタート管理テーブルハンドラ | JobRestartTableHandler | ジョブリスタート管理テーブルのハンドラクラス用Bean定義。 | queryDAO updateDAO jobRestartInfoFactory | データベースBean定義ファイルを参照 データベースBean定義ファイルを参照 項番22を参照 |
| 21 | | ジョブリスタート情報用パラメータクラス | JobRestartInfoFactory | ジョブリスタート情報用パラメータクラスのBean定義。 | なし | なし |

チャンク別トランザクションモデル (ブレイク)

| 順番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|-------------|--------------------------------|--|------------------------------|--|--|
| 0 | ブレースホルダ | | | ブレースホルダの定義 | import resource | 初期値 [classpath:common/PlaceholderConfig.xml] |
| 1 | マネージャ | jobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | ジョブ実行マネージャの定義。 | name collector workQueueFactory preProcessor postProcessor | 初期値 [chunkTransactionJobManager] ジョブBean定義ファイルを参照 項番2を参照 項番3を参照 項番5を参照 |
| 2 | | - | jp.terasoluna.fw.batch.common.WorkManagerTaskWorkQueueFactory | common対応作業キュー生成クラスの定義。 | workerExecuterService | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 非同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| 3 | | jobPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション制御有りのジョブ前処理の定義。 | queueLength queueProcessor supportProcessor | デフォルトBean定義ファイルを参照 項番7を参照 項番4を参照 |
| 4 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ前処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 5 | | jobPostProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション制御有りのジョブ後処理の定義。 | supportProcessor | 項番6を参照 |
| 6 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ後処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 7 | キュープロセッサ | chunkTransactionQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | キュー処理クラスの定義。 | name worker | 初期値 [chunkTransactionQueueProcessor] 項番8を参照 |
| 8 | ワーカ | chunkTransactionWorker | TransactionWorker | トランザクション制御有りのワーカ定義。 | transactionManager useSavepoint jobWorker | データベースBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 項番9を参照 |
| 9 | | controlBreakWorker | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobWorker | チャンク処理クラスの定義。 | logicExecutor batchUpdateProcessor exceptionHandlerMap batchUpdateResultHandler defaultJobExceptionHandler | 項番10を参照 項番13を参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 フレームワークBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 10 | | controlBreakLogicExecutor | jp.terasoluna.fw.batch.controlbreak.ControlBreakLogicExecutor | コントロールブレイク用ビジネスロジック実行クラスの定義。 | controlBreakProcessor | 項番12を参照 項番11を参照 |
| 11 | | controlBreakProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.controlbreak.ControlBreakProcessor | コントロールブレイク処理実行クラスの定義。 | controlBreakDef logicResultHandler exceptionHandlerMap defaultJobExceptionHandler throwableHandler | 項番14を参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は [throwableHandler] である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 12 | | logicExecutor | jp.terasoluna.fw.batch.core.StandardLogicExecutor | ビジネスロジック実行クラスの定義。 | logic logicResultHandler exceptionHandlerMap defaultJobExceptionHandler throwableHandler | ジョブBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は [throwableHandler] である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 13 | | batchUpdateProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardBatchUpdateProcessor | バッチ更新処理実行クラスの定義。 | updateDAO | データベースBean定義ファイルを参照 |
| 14 | コントロールブレイク | controlBreakDef | jp.terasoluna.fw.batch.controlbreak.ControlBreakDef | コントロールブレイク情報クラスの定義。 | controlBreakDefItemList chunkControlBreakDefItem transChunkControlBreakDefItemList | ジョブBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 12 | ジョブの処理状況クラス | MonitorableJobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.monitor.MonitorableJobStatus | 監視用ジョブの処理状況用Bean定義。 | beanRegister transactionManager useSavepoint partitionNo defaultJobExitCodeMap | フレームワークBean定義ファイルを参照 データベースBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 初期値 [1] デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 13 | | JobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobStatus | ジョブの処理状況用Bean定義。 | partitionNo transactionManager useSavepoint partitionNo defaultJobExitCodeMap | 初期値 [1] データベースBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 初期値 [1] デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 14 | | threadSize | java.lang.Integer | スレッドプールのサイズ | constructor-arg | 初期値 [1] |

非トランザクションモデル

| 項番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|-------------|-----------------------------|--|-------------------------|----------------------------|---|
| 0 | ブレースホルダ | | | ブレースホルダの定義 | import resource | 初期値 [classpath:common/PlaceholderConfig.xml] |
| 1 | マネージャ定義 | jobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | ジョブ実行マネージャの定義。 | name | 初期値 [noTransactionJobManager] |
| | | | | | collector | ジョブBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | workQueueFactory | 項番2を参照 |
| | | | | | preProcessor | 項番3を参照 |
| 2 | | - | jp.terasoluna.fw.batch.common.WorkManagerTaskWorkerQueueFactory | commonに対応作業キュー生成クラスの定義。 | postProcessor | 項番4を参照 |
| | | | | | workerExecutorService | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| | | | | | queueLength | 非同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| 3 | | jobPreProcessor | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ前処理の定義。 | queueProcessor | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 4 | | jobPostProcessor | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ後処理の定義。 | supportLogicList | ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 5 | キュープロセッサ | noTransactionQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | キュー処理クラスの定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 6 | ワーカ | noTransactionWorker | baseWorker (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobWorker) | チャンク処理クラスの定義。 | name | 初期値 [noTransactionQueueProcessor] |
| | | | | | worker | 項番6を参照 |
| | | | | | biLogicExecutor | 項番7を参照 |
| | | | | | exceptionHandlerMap | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 7 | | biLogicExecutor | jp.terasoluna.fw.batch.core.StandardBiLogicExecutor | ビジネスロジック実行クラスの定義。 | defaultJobExceptionHandler | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | batchUpdateProcessor | 項番8を参照 |
| | | | | | batchUpdateResultHandler | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 8 | | batchUpdateProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardBatchUpdateProcessor | バッチ更新処理実行クラスの定義。 | biLogic | ジョブBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | biLogicResultHandler | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | exceptionHandlerMap | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | defaultJobExceptionHandler | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | throwableHandler | ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は [throwableHandler] である。 |
| 9 | ジョブの処理状況クラス | MonitorableJobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.monitor.MonitorableJobStatus | 監視用ジョブの処理状況用Bean定義。 | updateDAO | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | mbeanRegister | データアクセスBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | transactionManager | データアクセスBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | useSavepoint | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | partitionNo | 初期値 [1] |
| | | | | | defaultJobExitCodeMap | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 10 | | JobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobStatus | ジョブの処理状況用Bean定義。 | partitionNo | 初期値 [1] |
| | | | | | transactionManager | データアクセスBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | useSavepoint | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | partitionNo | 初期値 [1] |
| | | | | | defaultJobExitCodeMap | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 11 | スレッドプールサイズ | threadSize | java.lang.Integer | スレッドプールのサイズ | constructor-arg | 初期値 [1] |

単一トランザクションモデル

| 順番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|-------------|---------------------------------|--|-------------------------|---|---|
| 0 | ブレースホルダ | | | ブレースホルダの定義 | import resource | 初期値 [classpath:common/PlaceholderConfig.xml] |
| 1 | マネージャ | jobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | ジョブ実行マネージャの定義。 | name collector workQueueFactory preProcessor postProcessor | 初期値 [classpath:common/PlaceholderConfig.xml] 初期値 [singleTransactionJobManager] ジョブBean定義ファイルを参照 項番2を参照 項番3を参照 項番5を参照 |
| 2 | | - | jp.terasoluna.fw.batch.common.WorkManagerTaskWorkQueueFactory | commonに対応作業キュー生成クラスの定義。 | workerExecutorService queueLength queueProcessor | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 非同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 項番7を参照 |
| 3 | | jobPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション制御有りのジョブ前処理の定義。 | supportProcessor | 項番4を参照 |
| 4 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ前処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 5 | | jobPostProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション制御有りのジョブ後処理の定義。 | supportProcessor | 項番6を参照 |
| 6 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | ジョブ後処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 7 | キュープロセッサ | singleTransactionQueueProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor | キュー処理クラスの定義。 | name worker transactionManager preProcessor postProcessor throwableHandler | 初期値 [singleTransactionQueueProcessor] 項番10を参照 データアクセスBean定義ファイルを参照 項番8を参照 項番9を参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は [throwableHandler] である。 デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 8 | | firstChunkPreProcessor | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 先頭チャンク前処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 9 | | lastChunkPostProcessor | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 最終チャンク後処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 10 | ワーカー | singleTransactionWorker | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobWorker | チャンク処理クラスの定義。 | blologicExecutor batchUpdateProcessor exceptionHandlerMap batchUpdateResultHandler defaultJobExceptionHandler throwableHandler | 項番11を参照 項番12を参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は [throwableHandler] である。 デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 11 | | blologicExecutor | jp.terasoluna.fw.batch.core.StandardBlologicExecutor | ビジネスロジック実行クラスの定義。 | blologic blologicResultHandler exceptionHandlerMap defaultJobExceptionHandler throwableHandler | ジョブBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は [throwableHandler] である。 デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 12 | | batchUpdateProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardBatchUpdateProcessor | バッチ更新処理クラスの定義。 | updateDAO | データアクセスBean定義ファイルを参照 |
| 13 | ジョブの処理状況クラス | MonitorableJobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.monitor.MonitorableJobStatus | 監視用ジョブの処理状況用Bean定義。 | mbeanRegister transactionManager useSavepoint partitionNo defaultJobExitCodeMap | フレームワークBean定義ファイルを参照 データアクセスBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 初期値 [-1] デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 14 | | JobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobStatus | ジョブの処理状況用Bean定義。 | partitionNo transactionManager useSavepoint partitionNo defaultJobExitCodeMap | 初期値 [-1] データアクセスBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 初期値 [-1] デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 15 | スレッドプールサイズ | threadSize | java.lang.Integer | スレッドプールのサイズ | constructor-arg | 初期値 [1] |

ジョブ分割チャンク別トランザクションモデル

| 順番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|--------------|--|---|------------------------------|--|---|
| 0 | ブレースホルダ | | | ブレースホルダの定義 | import resource | 初期値 [classpath:common/PlaceholderConfig.xml] |
| 1 | 親ジョブマネージャ | jobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | 親ジョブ実行用マネージャ定義。 | name collector workQueueFactory preProcessor postProcessor | 初期値 [partitionChunkTransactionJobManager] ジョブBean定義ファイルを参照 項番2を参照 項番3を参照 項番5を参照 |
| 2 | | - | jp.terasoluna.fw.batch.common.WorkManagerTaskWorkerQueueFactory | commonに対応親ジョブ用作業キュー作成クラスの定義。 | workerExecutorService | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 非同同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| 3 | | parentJobPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.transactionalSupportProcessor) | トランザクション制御有りの親ジョブ前処理の定義。 | queueLength queueProcessor multiplicity | デフォルトBean定義ファイルを参照 項番7を参照 ジョブBean定義ファイルを参照 項番4を参照 |
| 4 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 親ジョブ前処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 5 | | parentJobPostProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.transactionalSupportProcessor) | トランザクション制御有りの親ジョブ後処理の定義。 | supportProcessor | 項番6を参照 |
| 6 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 親ジョブ後処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 7 | 親ジョブキュープロセッサ | partitionChunkTransactionQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | 親ジョブ用キュー処理クラスの定義。 | name | 初期値 [partitionChunkTransactionQueueProcessor] |
| 8 | 子ジョブマネージャ | childJobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | 子ジョブ実行用マネージャ定義。 | worker name collector workQueueFactory preProcessor postProcessor | 項番8を参照 初期値 [childJobManager] ジョブBean定義ファイルを参照 項番9を参照 項番10を参照 項番12を参照 |
| 9 | | - | jp.terasoluna.fw.batch.common.WorkManagerTaskWorkerQueueFactory | commonに対応子ジョブ用作業キュー作成クラスの定義。 | workerExecutorService | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 非同同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| 10 | | jobPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.transactionalSupportProcessor) | トランザクション制御有りの子ジョブ前処理の定義。 | queueLength queueProcessor supportProcessor | デフォルトBean定義ファイルを参照 項番14を参照 項番11を参照 |
| 11 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 子ジョブ前処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 12 | | jobPostProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.transactionalSupportProcessor) | トランザクション制御有りの子ジョブ後処理の定義。 | supportProcessor | 項番13を参照 |
| 13 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 子ジョブ後処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 14 | 子ジョブキュープロセッサ | partitionChunkTransactionChildQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | 子ジョブ用キュー処理クラスの定義。 | name | 初期値 [partitionChunkTransactionChildQueueProcessor] |
| 15 | ワーカ | transactionWorker | jp.terasoluna.fw.batch.springsupport.transactionalTransactionWorker | トランザクション制御有りのワーカ定義。 | worker transactionManager useSavepoint jobWorker | 項番15を参照 データアクセスBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 項番16を参照 |
| 16 | | chunkWorker | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobWorker | チャンク処理クラスの定義。 | logicExecutor batchUpdateProcessor exceptionHandlerMap | 項番18を参照 項番17を参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 17 | | batchUpdateProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardBatchUpdateProcessor | バッチ更新処理クラスの定義。 | batchUpdateResultHandler defaultJobExceptionHandler throwableHandler | デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は [throwableHandler] である。 デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 18 | | batchLogicExecutor | jp.terasoluna.fw.batch.core.StandardBatchLogicExecutor | ビジネスロジック実行クラスの定義。 | updateDAO | データアクセスBean定義ファイルを参照 |
| 19 | | monitorableJobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.monitor.MonitorableJobStatus | 監視用ジョブの処理状況用Bean定義。 | logic logicResultHandler exceptionHandlerMap defaultJobExceptionHandler throwableHandler | ジョブBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は [throwableHandler] である。 デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 20 | | jobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobStatus | ジョブの処理状況用Bean定義。 | throwableHandler | フレームワークBean定義ファイルを参照 データアクセスBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 デフォルトBean定義ファイルを参照 初期値 [i] |
| 21 | スレッドプールサイズ | threadSize | java.lang.Integer | スレッドプールのサイズ | partitionNo transactionManager useSavepoint partitionNo defaultJobExitCodeMap | デフォルトBean定義ファイルを参照 初期値 [i] |

ジョブ分割チャック別トランザクションモデル (リスタート)

| 項番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|---------------------------------|---|--|--------------------------------|----------------------------|--|
| 0 | ブレースホルダ | - | - | ブレースホルダの定義 | import resource | 初期値 [classpath:common/PlaceholderConfig.xml] |
| 1 | jobManager | jp.terasoluna.fw.batch.restart.JobContextRestorer | | 親ジョブリスタート実行用マネージャの定義。 | jobRestartTableHandler | 項番31を参照 |
| | | | | | throwableHandler | 項番2を参照 |
| 2 | delegatedJobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | | 親ジョブ実行用マネージャ定義。 | name | ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| | | | | | collector | 初期値 [partitionChunkTransactionJobManager] |
| 3 | - | jp.terasoluna.fw.batch.commonj.WorkManagerTaskWorkQueueFactory | | commonj対応親ジョブ用作業キュー作成クラスの定義。 | workQueueFactory | ジョブBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | preProcessor | 項番3参照 |
| 4 | parentJobPreProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.restart.RestartPreProcessor | | リスタート時の親ジョブ前処理の定義。 | postProcessor | 項番4を参照 |
| | | | | | workerExecutorService | 項番5を参照 |
| 5 | 親ジョブマネージャ | restartParentJobPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transaction.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りの親ジョブ前処理の定義。 | queueLength | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 非同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| | | | | | queueProcessor | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 6 | - | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor | | 親ジョブ前処理の定義。 | throwableHandler | ジョブBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | jobRestartTableHandler | 項番31を参照 |
| 7 | parentJobPostProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.restart.RestartPostProcessor | | リスタート時の親ジョブ後処理の定義。 | postProcessor | 項番8を参照 |
| | | | | | sqKey | リスタート情報クリア用SQL 初期設定値は『jobRestart.DELETE_JOB_RESTART_CLEAR』である。 |
| 8 | delegatedParentJobPostProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.restart.RestartPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transaction.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りの親ジョブ後処理の定義。 | parentManager | 初期値 [true] |
| | | | | | throwableHandler | ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 9 | - | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor | | 親ジョブ後処理の定義。 | supportProcessor | 項番9を参照 |
| | | | | | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 10 | 親ジョブキューロセッサ | partitionChunkTransactionQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | 親ジョブ用キュー処理クラスの定義。 | name | 初期値 [partitionChunkTransactionQueueProcessor] |
| | | | | | worker | 項番11を参照 |
| 11 | restartChildJobManager | jp.terasoluna.fw.batch.restart.JobContextRestorer | | 子ジョブリスタート実行用マネージャの定義。 | jobRestartTableHandler | 項番31を参照 |
| | | | | | throwableHandler | 項番12を参照 |
| 12 | restartDelegatedChildJobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | | 子ジョブ実行用マネージャ定義。 | name | ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| | | | | | collector | 初期値 [childJobManager] |
| 13 | - | jp.terasoluna.fw.batch.commonj.WorkManagerTaskWorkQueueFactory | | commonj対応子ジョブ用作業キュー作成クラスの定義。 | workQueueFactory | ジョブBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | preProcessor | 項番13参照 |
| 14 | jobPreProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.restart.RestartPreProcessor | | リスタート時の子ジョブ前処理の定義。 | postProcessor | 項番14を参照 |
| | | | | | workerExecutorService | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 非同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| 15 | 子ジョブマネージャ | delegatedJobPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transaction.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りの子ジョブ前処理の定義。 | queueLength | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| | | | | | queueProcessor | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 16 | - | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor | | 子ジョブ後処理の定義。 | jobRestartTableHandler | 項番31を参照 |
| | | | | | postProcessor | 項番15を参照 |
| 17 | jobPostProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.restart.RestartPostProcessor | | リスタート時の子ジョブ後処理の定義。 | sqKey | リスタート情報クリア用SQL 初期設定値は『jobRestart.UPDATE_JOB_RESTART_CLEAR』である。 |
| | | | | | throwableHandler | ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 18 | delegatedJobPostProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.restart.RestartPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transaction.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りの子ジョブ後処理の定義。 | supportProcessor | 項番16を参照 |
| | | | | | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 19 | - | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor | | 子ジョブ後処理の定義。 | name | 初期値 [partitionChunkTransactionChildQueueProcessor] |
| | | | | | worker | 項番21を参照 |
| 20 | 子ジョブキューロセッサ | partitionChunkTransactionChildQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | 子ジョブ用キュー処理クラスの定義。 | transactionManager | データベースBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | useSavepoint | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 21 | transactionWorker | jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transaction.transactionalWorker | | チャック処理クラスの定義。 | jobWorker | 項番22を参照 |
| | | | | | jobRestartTableHandler | 項番31を参照 |
| 22 | restartPointUpdater | jp.terasoluna.fw.batch.restart.RestartPointUpdater | | リスタートポイント登録用ワーククラスの定義。 | throwableHandler | ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| | | | | | jobWorker | 項番24を参照 |
| 23 | restartPointCloser | jp.terasoluna.fw.batch.restart.RestartPointCloser | | リスタートポイント削除用ワーククラスの定義。 | jobRestartTableHandler | 項番31を参照 |
| | | | | | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 24 | chunkWorker | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobWorker | | チャック処理クラスの定義。 | sqKey | リスタート情報クリア用SQL 初期設定値は『jobRestart.UPDATE_JOB_RESTART_CLEAR』である。 |
| | | | | | throwableHandler | ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 25 | batchUpdateProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardBatchUpdateProcessor | | バッチ更新処理実行クラスの定義。 | blockExecutor | 項番25を参照 |
| | | | | | batchUpdateProcessor | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 26 | blockExecutor | jp.terasoluna.fw.batch.core.StandardBlockExecutor | | ビジネスロジック実行クラスの定義。 | exceptionHandlerMap | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | batchUpdateProcessor | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 27 | ジョブの処理状況クラス | MonitorableJobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.monitor.MonitorableJobStatus | 監視用ジョブの処理状況用Bean定義。 | defaultJobExceptionHandler | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | throwableHandler | ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 28 | JobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobStatus | | ジョブの処理状況用Bean定義。 | throwableHandler | ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| | | | | | partitionNo | 初期値 [1] |
| 29 | スレッドプールサイズ | threadSize | java.lang.Integer | スレッドプールのサイズ | transactionManager | データベースBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | useSavepoint | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 30 | ジョブリスタート管理テーブルハンドラ | JobRestartTableHandler | jp.terasoluna.fw.batch.restart.JobRestartTableHandler | ジョブリスタート管理テーブルのハンドラクラスをBean定義。 | partitionNo | 初期値 [1] |
| | | | | | defaultJobExceptionHandler | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 31 | ジョブリスタート情報パラメータクラス | JobRestartInfoFactory | jp.terasoluna.fw.batch.restart.StandardJobRestartInfoFactory | ジョブリスタート情報パラメータクラスのBean定義。 | multiplicity | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | queryDAO | データベースBean定義ファイルを参照 |

ジョブ分割非トランザクションモデル

| 順番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|--------------|---|--|-----------------------------|----------------------------|--|
| 0 | ブレースホルダ | | | ブレースホルダの定義 | import resource | 初期値 [classpath:common/PlaceholderConfig.xml] |
| 1 | 親ジョブマネージャ | jobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | 親ジョブ実行用マネージャの定義。 | name | 初期値 [partitionNoTransactionJobManager] |
| | | | | | collector | ジョブBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | workQueueFactory | 項番2を参照 |
| | | | | | preProcessor | 項番3を参照 |
| | | | | | postProcessor | 項番4を参照 |
| 2 | | - | jp.terasoluna.fw.batch.common.WorkManagerTaskWorkQueueFactory | common対応親ジョブ用作業キュー作成クラスの定義。 | workerExecutorService | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 非同同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| 3 | | parentJobPreProcessor | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 親ジョブ前処理の定義。 | queueProcessor | 項番5を参照 |
| 4 | | parentJobPostProcessor | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 親ジョブ後処理の定義。 | queueLength | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | multiplicity | ジョブBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 5 | 親ジョブキュープロセッサ | partitionNoTransactionQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | 親ジョブ用キュー処理クラスの定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 6 | 子ジョブマネージャ | childJobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | 子ジョブ実行用マネージャの定義。 | name | 初期値 [partitionNoTransactionQueueProcessor] |
| | | | | | worker | 項番6を参照 |
| | | | | | name | 初期値 [childJobManager] |
| | | | | | collector | ジョブBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | workQueueFactory | 項番7を参照 |
| 7 | | - | jp.terasoluna.fw.batch.common.WorkManagerTaskWorkQueueFactory | common対応子ジョブ用作業キュー作成クラスの定義。 | preProcessor | 項番8を参照 |
| 8 | | jobPreProcessor | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 子ジョブ前処理の定義。 | postProcessor | 項番9を参照 |
| 9 | | jobPostProcessor | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 子ジョブ後処理の定義。 | workerExecutorService | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 非同同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| 10 | 子ジョブキュープロセッサ | partitionNoTransactionChildQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | 子ジョブ用キュー処理クラスの定義。 | queueLength | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | ワーカ | | | | queueProcessor | 項番10を参照 |
| | | | | | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 11 | | noTransactionWorker | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobWorker | チャック処理クラスの定義。 | name | 初期値 [partitionNoTransactionChildQueueProcessor] |
| | | | | | worker | 項番11を参照 |
| | | | | | biogicExecutor | 項番12を参照 |
| | | | | | exceptionHandlerMap | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | defaultJobExceptionHandler | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 12 | | biogicExecutor | jp.terasoluna.fw.batch.core.StandardBiogicExecutor | ビジネスロジック実行クラスの定義。 | batchUpdateProcessor | 項番13を参照 |
| | | | | | batchUpdateResultHandler | フレームワークBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | throwableHandler | ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は [throwableHandler] である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 13 | | batchUpdateProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardBatchUpdateProcessor | バッチ更新処理実行クラスの定義。 | updateDAO | データアクセスBean定義ファイルを参照 |
| 14 | ジョブの処理状況クラス | MonitorableJobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.monitor.MonitorableJobStatus | 監視用ジョブの処理状況用Bean定義。 | mbeanRegister | フレームワークBean定義ファイルを参照 |
| 15 | | JobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobStatus | ジョブの処理状況用Bean定義。 | partitionNo | 初期値 [-1] |
| | | | | | defaultJobExitCodeMap | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 16 | スレッドプールサイズ | threadSize | java.lang.Integer | スレッドプールのサイズ | partitionNo | 初期値 [-1] |
| | | | | | defaultJobExitCodeMap | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | multiplicity | ジョブBean定義ファイルを参照 |

ジョブ分割単一トランザクションモデル

| 順番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|--------------|--|--|------------------------------|-----------------------|--|
| 0 | ブレースホルダ | | | ブレースホルダの定義 | import resource | 初期値『classpath:common/PlaceholderConfig.xml』 |
| 1 | 親ジョブマネージャ | jobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | 親ジョブ実行用マネージャの定義。 | name | 初期値 『partitionSingleTransactionJobManager』 |
| 2 | | — | jp.terasoluna.fw.batch.common.JobManagerTaskWorkerQueueFactory | common)対応親ジョブ用作業キュー作成クラスの定義。 | collector | ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 3 | | parentJobPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りの親ジョブ前処理の定義。 | workQueueFactory | 項番2を参照 |
| 4 | | — | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 親ジョブ前処理の定義。 | workQueueFactory | 項番3を参照 |
| 5 | | parentJobPostProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りの親ジョブ後処理の定義。 | preProcessor | 項番5を参照 |
| 6 | | — | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 親ジョブ後処理の定義。 | postProcessor | 項番7を参照 |
| 7 | 親ジョブキュープロセッサ | partitionSingleTransactionQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | 親ジョブ用キュー処理クラスの定義。 | queueProcessor | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| 8 | 子ジョブマネージャ | childJobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | 子ジョブ実行用マネージャの定義。 | queueLength | 非同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| 9 | | — | jp.terasoluna.fw.batch.common.JobManagerTaskWorkerQueueFactory | common)対応子ジョブ用作業キュー作成クラスの定義。 | supportProcessor | 項番4を参照 |
| 10 | | jobPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りの子ジョブ前処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 11 | | — | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 子ジョブ前処理の定義。 | ジョブBean定義ファイルを参照 | |
| 12 | | jobPostProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りの子ジョブ後処理の定義。 | | |
| 13 | | — | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 子ジョブ後処理の定義。 | | |
| 14 | 子ジョブキュープロセッサ | singleTransactionChildQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | 子ジョブ用キュー処理クラスの定義。 | name | 初期値 『partitionSingleTransactionChildQueueProcessor』 |
| 15 | | firstChunkPreProcessor | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 先頭チャンク前処理の定義。 | worker | 項番8を参照 |
| 16 | | lastChunkPostProcessor | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 最終チャンク後処理の定義。 | name | 初期値 『childJobManager』 |
| 17 | ワーカ | singleTransactionWorker | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobWorker | チャンク処理クラスの定義。 | collector | ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 18 | | batchUpdateProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardBatchUpdateProcessor | バッチ更新処理クラスの定義。 | workQueueFactory | 項番9を参照 |
| 19 | | batchLogicExecutor | jp.terasoluna.fw.batch.core.StandardBatchLogicExecutor | ビジネスロジック実行クラスの定義。 | preProcessor | 項番10を参照 |
| 20 | ジョブの処理状況クラス | MonitorableJobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.monitor.MonitorableJobStatus | 監視用ジョブの処理状況用Bean定義。 | postProcessor | 項番12を参照 |
| 21 | | JobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobStatus | ジョブの処理状況用Bean定義。 | workerExecutorService | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| 22 | スレッドプールサイズ | threadSize | java.lang.Integer | スレッドプールのサイズ | queueProcessor | 非同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |

ジョブ分割逐次単一トランザクションモデル

| 項番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|--------------|---|--|------------------------------|----------------------------|--|
| 0 | ブレースホルダ | | | ブレースホルダの定義 | import resource | 初期値『classpath:common/PlaceholderConfig.xml』 |
| 1 | 親ジョブマネージャ | jobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | 親ジョブ実行用マネージャの定義。 | name | 初期値 |
| | | | | | collector | 初期値『sequentialSingleTransactionJobManager』 |
| | | | | | workQueueFactory | ジョブBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | workProcessor | 項番2を参照 |
| | | | | | postProcessor | 項番3を参照 |
| | | | | | workerExecutorService | 項番5を参照 |
| 2 | 親ジョブマネージャ | - | jp.terasoluna.fw.batch.common.JobManagerTaskWorkerQueueFactory | common)対応親ジョブ用作業キュー作成クラスの定義。 | queueProcessor | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| | | | | | queueLength | 非同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| | | | | | supportProcessor | 項番7を参照 |
| 3 | | parentJobPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りの親ジョブ前処理の定義。 | supportProcessor | 項番4を参照 |
| 4 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 親ジョブ前処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 5 | | parentJobPostProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りの親ジョブ後処理の定義。 | supportProcessor | 項番6を参照 |
| 6 | 親ジョブキュープロセッサ | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 親ジョブ後処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 7 | | sequentialSingleTransactionQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | 親ジョブ用キュー処理クラスの定義。 | name | 初期値 『sequentialSingleTransactionQueueProcessor』 |
| | | | | | worker | 項番8を参照 |
| 8 | 子ジョブマネージャ | childJobManager | baseManager (jp.terasoluna.fw.batch.core.JobManager) | 子ジョブ実行用マネージャの定義。 | name | 初期値 『childJobManager』 |
| | | | | | collector | ジョブBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | workQueueFactory | 項番9を参照 |
| | | | | | preProcessor | 項番10を参照 |
| | | | | | postProcessor | 項番12を参照 |
| | | | | | workerExecutorService | 同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 非同期型起動用スレッドプール定義ファイルを参照 |
| 9 | 子ジョブマネージャ | - | jp.terasoluna.fw.batch.common.JobManagerTaskWorkerQueueFactory | common)対応子ジョブ用作業キュー作成クラスの定義。 | queueProcessor | 項番14を参照 |
| | | | | | queueLength | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | supportProcessor | 項番11を参照 |
| 10 | | jobPreProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りの子ジョブ前処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 11 | | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 子ジョブ前処理の定義。 | supportProcessor | 項番13を参照 |
| 12 | | jobPostProcessor | transactionalSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.spring.support.transactionalSupportProcessor) | トランザクション管理有りの子ジョブ後処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 13 | 子ジョブキュープロセッサ | - | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 子ジョブ後処理の定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | name | 初期値 『singleTransactionChildQueueProcessor』 |
| | | | | | worker | 項番17を参照 |
| | | | | | preProcessor | 項番15を参照 |
| | | | | | postProcessor | 項番16を参照 |
| | | | | | throwableHandler | ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 14 | 子ジョブキュープロセッサ | singleTransactionChildQueueProcessor | baseQueueProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.QueueProcessor) | 子ジョブ用キュー処理クラスの定義。 | supportLogicList | デフォルトBean定義ファイルを参照 ジョブBean定義ファイルを参照 |
| 15 | | firstChunkPreProcessor | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 先頭チャンク前処理の定義。 | | |
| 16 | | lastChunkPostProcessor | standardSupportProcessor (jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardSupportProcessor) | 最終チャンク後処理の定義。 | | |
| | | | | | batchUpdateProcessor | 項番18を参照 |
| | | | | | exceptionHandlerMap | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | defaultJobExceptionHandler | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 17 | ワーカ | singleTransactionWorker | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobWorker | チャンク処理クラスの定義。 | batchUpdateResultHandler | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | throwableHandler | ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| 18 | | batchUpdateProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.standard.StandardBatchUpdateProcessor | バッチ更新処理クラスの定義。 | updateDAO | データアクセスBean定義ファイルを参照 |
| 19 | | batchUpdateProcessor | jp.terasoluna.fw.batch.core.StandardBatchUpdateProcessor | ビジネスロジック実行クラスの定義。 | batchUpdateProcessor | ジョブBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | exceptionHandlerMap | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | defaultJobExceptionHandler | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 20 | ジョブの処理状況クラス | MonitorableJobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.monitor.MonitorableJobStatus | 監視用ジョブの処理状況用Bean定義。 | throwableHandler | ThrowableハンドラのBean定義。 初期設定値は『throwableHandler』である。 デフォルトBean定義ファイルを参照。 |
| | | | | | frameWorkBean | フレームワークBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | transactionManager | データアクセスBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | useSavepoint | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | partitionNo | 初期値『-1』 |
| | | | | | defaultJobExitCodeMap | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| 21 | ジョブの処理状況クラス | JobStatus | jp.terasoluna.fw.batch.core.JobStatus | ジョブの処理状況用Bean定義。 | partitionNo | 初期値『-1』 |
| | | | | | transactionManager | データアクセスBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | useSavepoint | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | partitionNo | 初期値『-1』 |
| | | | | | defaultJobExitCodeMap | デフォルトBean定義ファイルを参照 |
| | | | | | constructor-arg | 初期値『1』 |
| 22 | 分割ジョブの多重起動数 | multiplicity | java.lang.Integer | 分割ジョブの多重起動数 | | |

ファイルアクセス

| 項番 | 設定項目名称 | Bean ID | Classes/parent名 | 概要 | property | property概要 |
|----|-----------------------|-----------------------|--|--|---------------------------|-------------------|
| 1 | CSVファイルアクセス用（入力）DAO | csvFileQueryDAO | jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.CSVFileQueryDAO / fileQueryDAO | CSVファイルアクセス用（入力）DAO | - | - |
| 2 | 固定長ファイルアクセス用（入力）DAO | fixedFileQueryDAO | jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.FixedFileQueryDAO / fileQueryDAO | 固定長ファイルアクセス用（入力）DAO | - | - |
| 3 | 可変長ファイルアクセス用（入力）DAO | variableFileQueryDAO | jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.VariableFileQueryDAO / fileQueryDAO | 可変長ファイルアクセス用（入力）DAO | - | - |
| 4 | その他ファイルアクセス用（入力）DAO | plainFileQueryDAO | jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.PlainFileQueryDAO / fileQueryDAO | その他ファイルアクセス用（入力）DAO | - | - |
| 5 | ファイルアクセス用（入力）DAO 共通定義 | fileQueryDAO | jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.AbstractFileQueryDAO | ファイルアクセス用（入力）DAO 共通定義 | textSetterMap | 内容については項番6～9を参照 |
| 6 | | - | key: java.lang.String jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.TextSetString | カラムフォーマットクラスの定義。（String型） | validator | 項番10を参照 |
| 7 | | - | key: java.util.Date jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.TextSetDate | カラムフォーマットクラスの定義。（Date型） | - | - |
| 8 | | - | key: java.math.BigDecimal jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.TextSetDecimal | カラムフォーマットクラスの定義。（BigDecimal型） | - | - |
| 9 | | - | key: int jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.TextSetInt | カラムフォーマットクラスの定義。（int型） | - | - |
| 10 | | - | org.springframework.validation.commons.DefaultBeanValidator | バリデータのサンプルBean定義。 | validatorFactory | 項番11を参照 |
| 11 | | validatorFactory | jp.terasoluna.fw.validation.springmodules.DefaultValidatorFactoryEx | ファイル入力チェック（バリデータファクトリの記述例） | validationConfigLocations | - |
| 12 | CSVファイルアクセス用（出力）DAO | csvFileUpdateDAO | jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.CSVFileUpdateDAO / fileUpdateDAO | CSVファイルアクセス用（出力）DAO | - | - |
| 13 | 固定長ファイルアクセス用（出力）DAO | fixedFileUpdateDAO | jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.FixedFileUpdateDAO / fileUpdateDAO | 固定長ファイルアクセス用（出力）DAO | - | - |
| 14 | 可変長ファイルアクセス用（出力）DAO | variableFileUpdateDAO | jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.VariableFileUpdateDAO / fileUpdateDAO | 可変長ファイルアクセス用（出力）DAO | - | - |
| 15 | その他ファイルアクセス用（出力）DAO | plainFileUpdateDAO | jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.PlainFileUpdateDAO / fileUpdateDAO | その他ファイルアクセス用（出力）DAO | - | - |
| 16 | ファイルアクセス用（出力）DAO 共通定義 | fileUpdateDAO | jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.AbstractFileUpdateDAO | ファイルアクセス用（出力）DAO 共通定義 | textGetterMap | 内容については項番17～20を参照 |
| 17 | | - | key: java.lang.String jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.TextGetString | ファイル書き込み用カラムフォーマットクラスの定義。（String型） | - | - |
| 18 | | - | key: java.util.Date jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.TextGetDate | ファイル書き込み用カラムフォーマットクラスの定義。（Date型） | - | - |
| 19 | | - | key: java.math.BigDecimal jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.TextGetDecimal | ファイル書き込み用カラムフォーマットクラスの定義。（BigDecimal型） | - | - |
| 20 | | - | key: int jp.terasoluna.fw.file.dao.standard.TextGetInt | ファイル書き込み用カラムフォーマットクラスの定義。（int型） | - | - |